

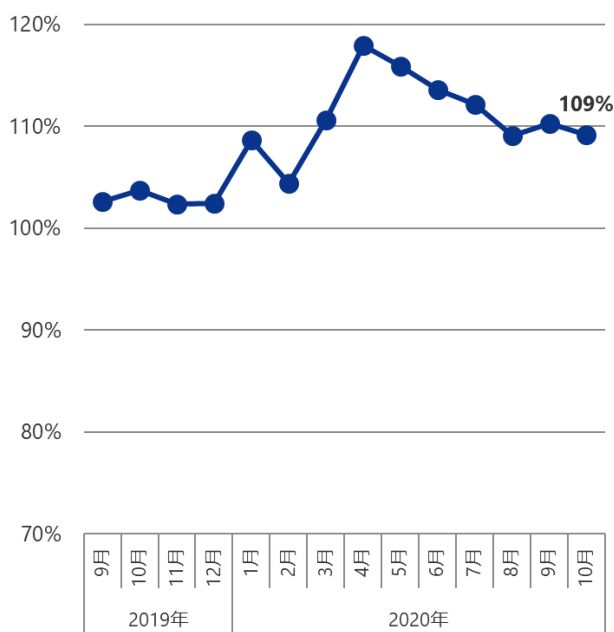
小児科の患者数が増加 風邪関連薬剤の処方増が影響 ～JMIRI 処方情報データベースにおける調査より～

医療情報サービスを手がける株式会社医療情報総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章、以下 JMIRI）は、独自に運用する「JMIRI 処方情報データベース」の2020年10月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大が処方箋データに与えた影響を調査・分析しました。

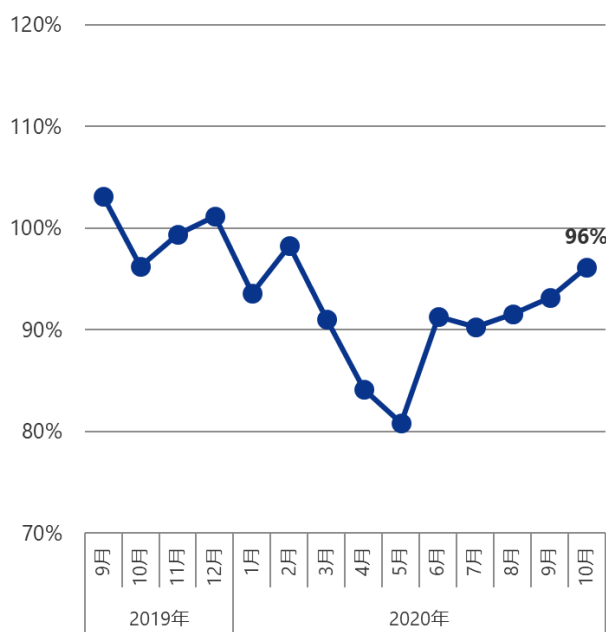
1. 処方日数は横ばい、患者数は上昇

10月の平均処方日数は前年同月比9%増（109%）、患者数は前年同月比4%減（96%）となりました。医療機関における一回あたりの平均処方日数は8月以降同水準をキープしています。来院間隔をあけるため一回にもらう薬の量が増えた患者は、そのまま長期処方を継続していることが推測されます。10月に処方を受けた患者数は前年同月比96%となり、3ヶ月連続で回復基調にあります。新型コロナウイルスの新規感染者数が8月に二度目のピークを迎えて以降、10月後半まで安定した水準となっています。

■一回あたりの平均処方日数の前年同月比



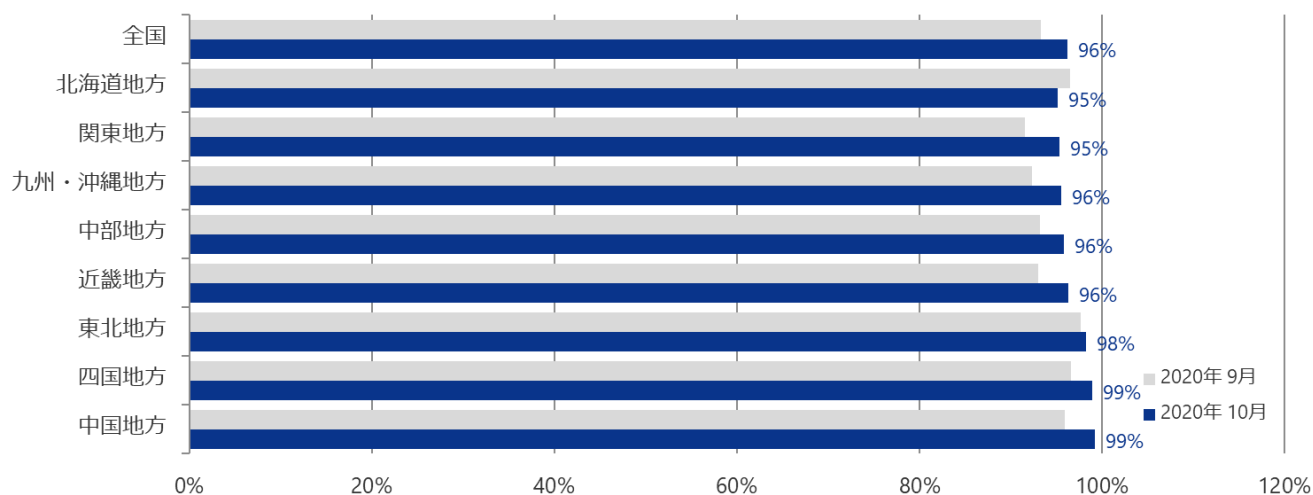
■患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

患者数の前年同月比を地域別に見ると、9月まで回復が遅れていた関東地方も95%まで回復し、全国的に平常時に戻りつつあることが伺えます。

■地域別患者数の前年同月比

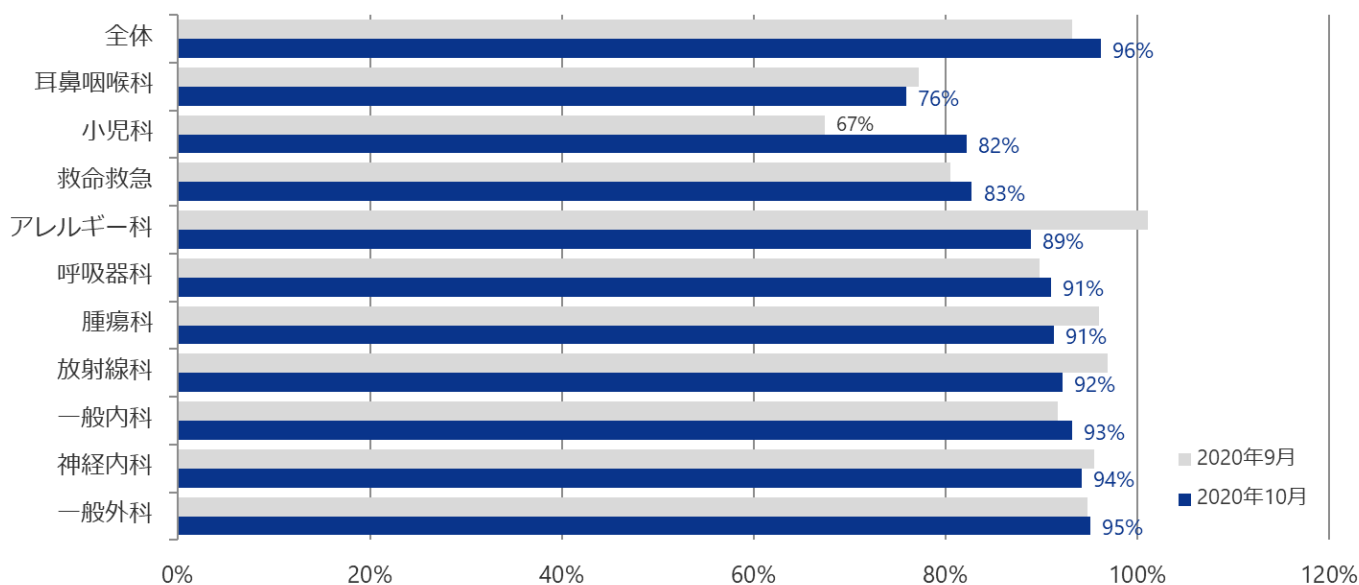


株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

2. 小児科の患者数増加

患者数の前年同月比を診療科別に見ると、これまで大幅に患者数が減少していた小児科で15pt上昇し、前年同月比82%まで回復しました。

■診療科別患者数の前年同月比

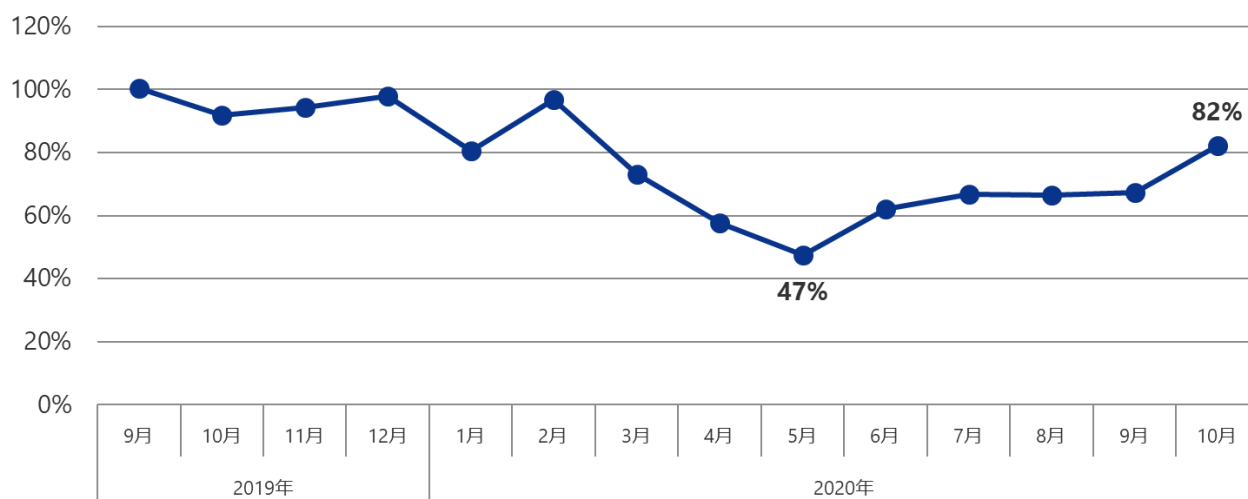


株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

JMIRIの全診療科(30種)より2020年10月の前年同月比が低い10診療科を抽出

小児科患者数の前年同月比を見ると、2020年9月まで4ヶ月連続60%台で推移していましたが、10月は82%と大きく回復しています。

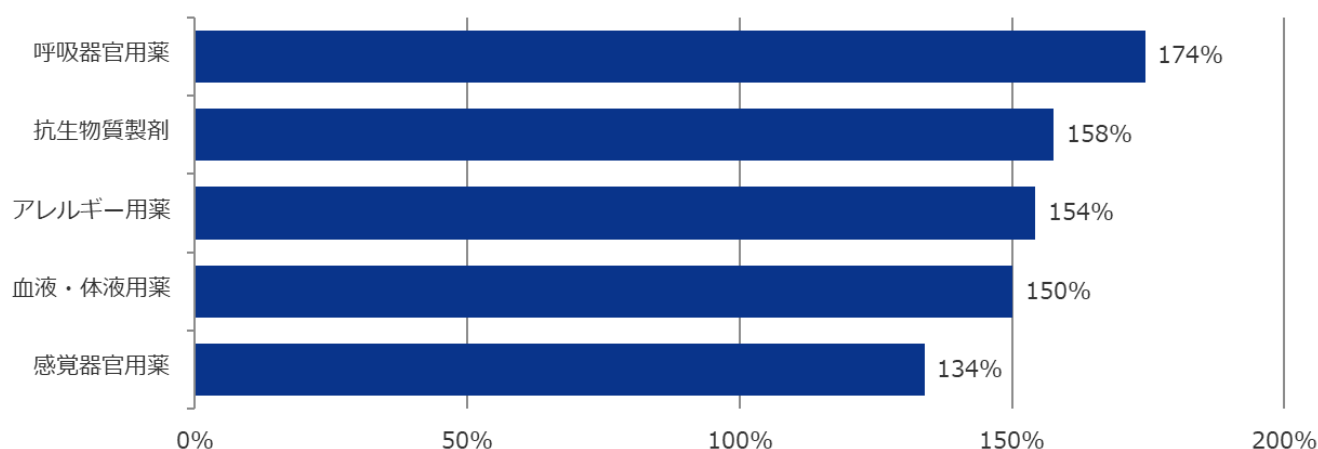
■小児科患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

新型コロナウイルスの感染拡大以降、他の診療科と比べ大きく患者数が減少し9月まで低水準で推移していた小児科が、10月に急回復した要因は何だったのでしょうか。小児科の薬剤群別患者数の前月比をみると、呼吸器官用薬や抗生物質製剤の患者数が大きく増加していることが分かります。去痰剤等の使用患者数が戻ってきていることから、これまで手洗い・うがいの徹底などで抑えられていた風邪を含めた各種感染症が増えてきていることが示唆されます。11月に入り気温と湿度が下がり始め、感染症が流行する時期に入ったため、今後注視していく必要がありそうです。

■薬剤群別小児科患者数の前月比(2020年10月)



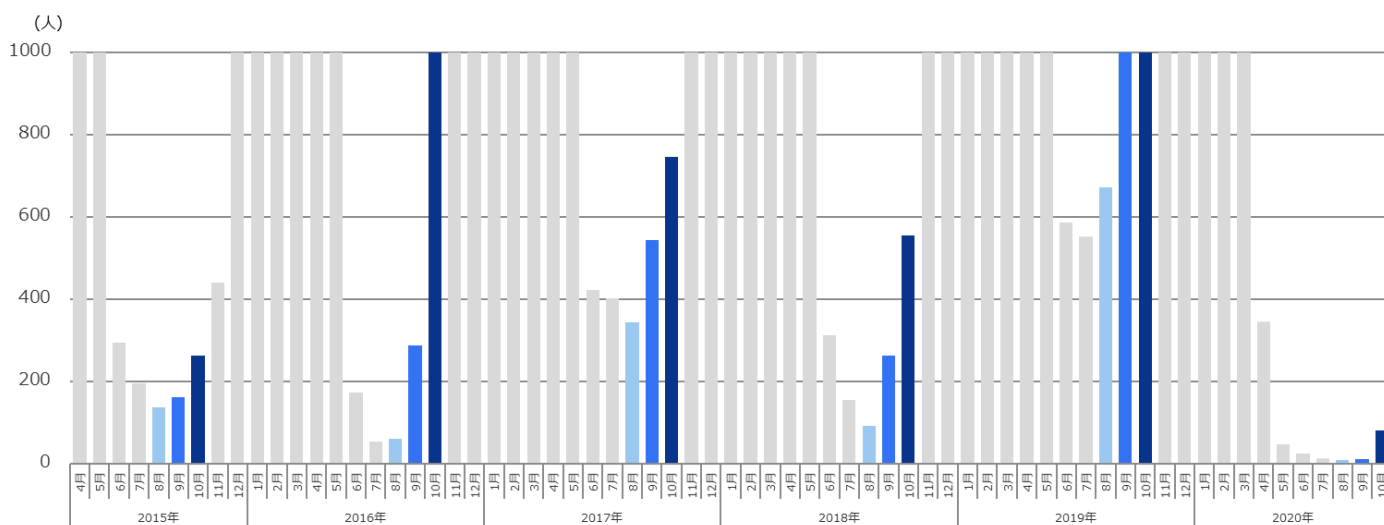
株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

JMIRI 処方情報データベースで2020年10月に1000名以上の患者が確認された薬剤群より前月比が高い5つを抽出

3. インフルエンザ患者も徐々に増えてきている？

この時期に気になり始める感染症と言えばインフルエンザですが、9月までは例年と比べ大幅に患者数が少ない状況にありました。このままインフルエンザは流行しないのでは？と予想されましたが、10月は少し患者が増えています。2020年9月の患者数は前年同月比で200分の1でしたが、10月は30分の1(2015年～2019年10月平均の約12分の1)という水準で昨年と比較し大きく患者数が減少しているものの、差が縮まっております。新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を意識した行動が必要かもしれません。

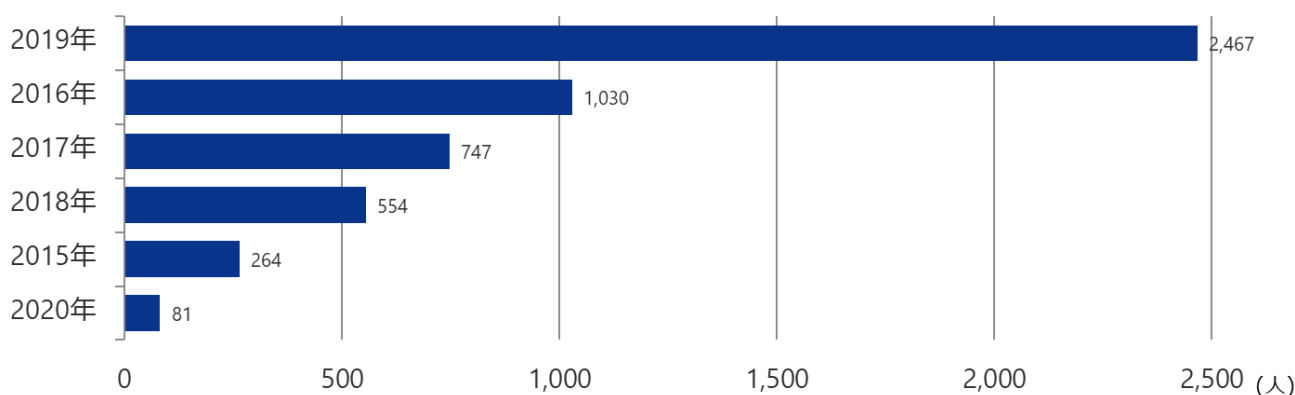
■インフルエンザ治療薬処方患者数推移



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析
患者数は JMIRI 処方情報データベースに登録されている調剤薬局で調剤を受けた患者の数

■10月のインフルエンザ治療薬処方患者数(2015年以降)



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析
患者数は JMIRI 処方情報データベースに登録されている調剤薬局で調剤を受けた患者の数

新型コロナウイルス新規感染者数は 8 月のピーク後減少し、10 月後半まで低水準で下げ止まりの状況が続いていました。しかし、10 月には Go To トラベル、Go To イートキャンペーンが本格的に開始され、人の動きが活発になり 11 月に入ってから新規感染者数が急増しました。過去最高の感染者数を記録する地域が増えてきており、処方動向にどのような影響が出るのでしょうか。

JMIRI は国内で初めて「処方箋データベース」の運用を開始し、14 年間のデータを用いて迅速な解析データの提供を行っています。11 月以降も医療データから見える世の中を発信していきます。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社医療情報総合研究所 企画開発部 鹿島田
Eメール: cs@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社医療情報総合研究所 会社概要

会社名 : 株式会社医療情報総合研究所 (略称: JMIRI/ジェイミリ)
所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階
代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章
設立日 : 2005 年 7 月 14 日
資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)
事業内容 :

当社は 2005 年に設立以来、「患者中心の医療・健康情報ネットワークに基づく患者指向のマーケティング支援」をコンセプトに、医療情報（処方情報、患者情報、医師・薬剤師の声）の収集、解析、および提供・販売を行っております。

2020 年 7 月、インテージグループ内にある医療用医薬品関連のファクトデータ事業を JMIRI に集約。今後、新たなソリューションの開発に注力してまいります。

URL : <https://www.jmiri.jp/>
